

岡山のことば



眼科

いしくち なより
石口 奈世理先生

こんにちは。早いもので、私がつくば(茨城県)から倉敷に来て、もうすぐ丸4年になろうとしています。「目葉がみてた」「まよりが出る」「目がほちゃほちゃする」「目がうしい(薄い)」など、岡山表現にいちいち「えっ、なにに?!」と反応していた私も、今ではすっかり患者さんやスタッフと岡山弁で話せるようになりました。

学生時代、英語と社会が超苦手、数学がダントツ得意だった完全理系人間の私ですが、実は小中学生の頃は、『漫画の編集者になりたい』『作詞家になりたい』『小

説家になりたい』と夢見ていた文系志向の人。文才があるわけでは全くありませんが、ことばが好きで、人の口癖や方言にピピッと耳が反応します。

倉敷に来て、まずびっくりしたのは、若いお母さんたちのことば。怖い!!「あんた、なんしょん!」「はよしねー!」「あぶねえけん、はよ降りねー!」公園で子供たちに強い口で言っているのを聞いて、『みんな元ヤンなの…?』とビクビクしていました。今では大分慣れましたが、やっぱりちょっと怖いです…。

子供が通う保育園で驚いたのがレトロな物言い。『出席ノート』は『お帳面』、『オムツ』は『オシメ』、『制服の上着』は『うわっぱり』、『指しゃぶり』は『指吸い』。お帳面とかオシメとか、昭和のことばでしょ。さすが倉敷、“古き良き町”は観光目的の上辺だけのものではないんだ、と妙に感心しました。

おもしろいのは、『もー』『のーん』などの体勢を表現することば。『もー』はお尻を突き出す体勢で、子供のお尻を拭くときに「はい、もーして」と指示します。「のーん」は顎を前に突き出すような体勢。眼科では機器に顔乗せしてもら

ことが多いので、看護師さんが「もうちょっと顎を前に出して!はい、のーん!」と声掛けしていて、びっくりしました(笑)。でもこれで通じる!すごい!便利!「お顔を前に出して、あっ、違う、おでこじゃなくて顎をもう少し前に…」等と長々説明が要らない。素晴らしい「のーん」。

好きな岡山のことばはいくつもあります。今のお気に入りの表現は、『～しなくてよろしい』です。「そんなん言わんでよろしいが」「もう点眼せんでよろしい」など患者さんやご家族がよく言われます。私は子供を叱るときに使っています。「そんなんじゃったらもうせんでよろしい!」…なんだか育ちが良い感じがしません?

とりとめなく岡山のことばについて思いついたことを書いてみました。4年近くいても、まだ新しいことばとの出会いがあり、楽しいです。患者さんと看護師さんが私の岡山ことばの先生です。いつかネイティブ並になれるかなぁ。

石口先生は毎週月曜日午後と火曜日～金曜日の終日、第3土曜日午前の眼科外来を担当されています。

Doctor's Eyes